

製品安全データシート (MSDS)

1 製品及び会社情報

製品の特長

製品の名称 キンヨースルー
 製品分類 エアゾール 防錆潤滑剤
 主な用途 印刷機械 機械部品

NET容量 300mL

会社情報

会社名 株式会社 イー・エヌ・ドウコーポレーション
 住 所 栃木県宇都宮市今泉町847-20 のぞきビル3F
 電話番号 028(600)1007
 FAX番号 028(600)1008
 製造者 小池化学株式会社
 住 所 東京都墨田区錦糸3-2-1 アルカイスト12F
 電話番号 03(5610)5161
 改訂日 2012年2月8日

2 危険有害性の要約

GHS分類

可燃性/引火性エアゾール : 区分1 (シンボル: 炎、危険喚起語: 警告)

急性毒性(経口) : 区分外 (シンボル: なし、注意喚起語: なし)

急性毒性(経皮) : 分類できない

急性毒性(吸入: ガス) : 分類できない

急性毒性(吸入: 蒸気) : 分類できない

急性毒性(吸入: 粉塵、ミスト) : 分類できない

皮膚腐食性・刺激性 : 分類できない

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分2A-2B (シンボル: 感嘆符、注意喚起語: 警告)

呼吸器感作性 : 分類できない

皮膚感作性 : 分類できない

生殖細胞変異原性 : 分類できない

発がん性 : 分類できない

生殖毒性 : 分類できない

特定標的臓器・全身毒性(単回暴露) : 分類できない : 分類できない

特定標的臓器・全身毒性(反復暴露) : 分類できない : 分類できない

吸引性呼吸器有害性 : 分類できない

水生環境急性有害性 : 分類できない

水生環境慢性有害性 : 分類できない

GHSラベル要素

シンボル:



注意喚起語

危険有害性情報

: 危険

: 極めて可燃性/引火性の高いエアゾール

: 加圧ガス; 熱すると爆発のおそれ

: 引火性の高い液体及び蒸気

注意書き

: 人体に向けて使用しないでください。

: 誤って目に入った場合は、直ちに大量の清水で十分洗浄して下さい。

: 異常な場合は医師に相談して下さい。

: 飲酒の良いた所で使用して下さい。

: 使用中に気分が悪くなった場合は直ちに使用を中止し、安静にして下さい。

: 容器を振ってから使用して下さい。

: 狭い所や手の届かない所に吹き付ける場合はノズルを使用して下さい。

: 使用目的以外の所に付着した場合は速やかに布で拭き取して下さい。

: 炎や火気の近くで使用しない事。

: 火気を使用している室内で大量に使用しない事。

:高温にすると破裂の危険がある為、直射日光の当たる場所や火気等の
 近くなど温度が40度以上となる所に置かない事。
 :火の中に入れない事。
 :使い切って捨てる事。

国/地域情報

: 高圧ガス保安法・同法施行令 第三条(適用除外)
 : 可燃性の液化石油ガス

3 組成・成分情報

単一製品・混合物の区別: 混合物
 含有成分及び含有量

成分名・化学名	含有率wt%	CAS No	化審法No.	安衛法No.	PRTR法No.	毒劇法
原油						
石油系炭化水素 潤滑油添加剤	58.3	-	企業秘密	非該当	非該当	非該当
噴射剤: 液化石油ガス	41.6					
n-ブタン		106-97-8	4	該当	非該当	非該当
i-ブタン		75-28-5		該当	非該当	非該当
プロパン		74-98-6	3	非該当	非該当	非該当

国連番号 1950
 国連分類 航空輸送時 クラス2
 海上輸送時 クラス9

4 応急処置

目に入った場合 直ちに多量の清浄な流水で十分に洗眼して下さい。刺激、痛み等の異常がみられる場合は、直ちに医師の診察を受けて下さい。
 皮膚に付いた場合 紙・布等で拭き取るか水又は石けんで洗い流して下さい。
 吸入した場合 刺激がある場合、外観に異常が見られる場合は医師の診断を受けて下さい。
 使用中気分が悪くなった場合、患者を直ちに空気の新鮮な場所に移し安静にする。
 飲み込んだ場合 気分が回復しない場合は医師の診断を受けて下さい。
 水で口の中をよく洗い、無理に吐き出させないようにし、直ちに医師の診断を受けて下さい。

5 火災の措置

消火方法 火災時には破裂の危険があり、火源周辺から移動可能であれば、速やかに安全な場所に移す。保護具を着用し、火元への燃焼起源を断ち、消火剤を使用して風上から行う。初期の火災には、粉末・炭酸ガス消火器で消火し、大規模火災の場合は、泡消火器を用いて空気を遮断する。移動不可能なものの延焼を防ぐ為周囲に散水して冷却する。
 消火剤 炭酸ガス ABC粉末 泡

6 漏出時の措置

可燃性ガス及び引火性液体が噴出するので、火源を近づけないように注意すること。

7 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い上の注意 取扱い時には、保護眼鏡および必要に応じて保護手袋を着用して下さい。
 直接、目、口や皮膚に触れないようにして下さい。
 局所排気装置を運転し、換気をよくして作業して下さい。
 高圧ガスを使用した可燃性の製品であり、以下の注意を守ること。
 炎や火気の近くで使用しないこと。火気を使用している室内で大量に使用しないこと。
 高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所や火気等の近くなど温度が40度以上となる場所に置かないこと。火の中に入れないこと。使い切って捨てること。
 保管上の注意 高温にすると破裂の危険があるため、直射日光を避け、車中、火気等の近くなど温度が40℃以上になる場所に保管しないで下さい。
 子供の手の届かない場所に保管し、いたずらをしないよう注意して下さい。
 容器が錆びて破裂や漏出する恐れがあるので、水回り・湿度の高い所に保管しないで下さい。

8 暴露防止措置及び保護措置

<原液>

管理濃度、許容濃度	: 管理濃度 規定なし : 許容濃度 日本産業衛生学会(2004年度版) 3mg/m ³ ACGIH 2004 TWA 5mg/m ³
設備対策	: ミストが発生する場合は発生源の密閉化又は排気装置を設ける。
呼吸器の保護具	: 必要に応じて空気呼吸器を使用する。
手の保護具	: 必要に応じて乾いた革手袋を着用する。
目の保護具	: 必要に応じて保護眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具	: 使用形態に応じた作業服、ヘルメットを着用する。

<噴射剤>

許容濃度	: プロパン 設定されていない
日本産業衛生学会	: ブタン 500ppm
米国産業衛生協議会	: プロパン 1000ppm
(ACGIH 2005 TLV-TWA)	: ブタン 800ppm
設備対策	: 屋内で使用する場合は、換気をよくする。
保護具	
呼吸器の保護具	: 必要に応じて空気呼吸器を使用する。
手の保護具	: 必要に応じて乾いた革手袋を着用する。
目の保護具	: 必要に応じて保護眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具	: 使用形態に応じた作業服、ヘルメットを着用する。

9 物理的・化学的性質

(原液)

外観	: 黒緑色不透明な液で特異な臭いがする。	霧状の噴射液
原液比重	: 0. 8 2 2 (25℃)	溶解度 : 水に不溶

(製品)

製品内圧 0. 4 0MPa (25℃) 初期圧

10 安定性及び反応性

原液 引火点	70℃以上 (原液)
原液 発火点	データなし
爆発限界	原液として データなし LPGとして 上限9.5% 下限1.4%
可燃性	あり
酸化性	なし
自己反応性・爆発性	噴射剤の滞留と点火源の存在により、爆発の可能性あり。
安定性・反応性	通常の取り扱い条件においては安定ですが、高圧ガスを含むので40℃以上になると危険です。
その他	静電気には十分注意してください。

11 有害性情報 (人についての症例、疫学的情報情報を含む)

急性毒性	: データなし
皮膚腐食性・刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	: データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器・全身毒性(単回暴露)	: データなし
特定標的臓器・全身毒性(反復暴露)	: データなし
吸引性呼吸器有害性	: データなし

12 環境影響情報

土壤中の移動性	: データなし
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
生体毒性	: データなし

13 廃棄上の注意

①使い切って捨てること。

- ②容器を捨てる際は、火気のない戸外で噴射音が消えるまでボタンを押し、ガスを抜いてください。
- ③廃棄の際は、中味がないことを確認のうえ、火気のない風通しのよい屋外で噴射音が消えるまでボタンを押し、ガスを完全に抜いてから、各自治体が定める方法に従って破棄してください。

1.4 輸送上の注意

温度の上昇を防止する。(40℃以下)

その他、取り扱い・保管上の注意の項の記載による一般的な注意事項による。

転倒、落下、損傷のないよう荷崩れ防止を確実に行う。

法規に規定された基準に従って輸送する。

国際規則

	国連番号	品名	クラス	海洋汚染物質 消防法	
プロパン	1978	プロパン	2.1	—	
ブタン	1011	ブタン	2.1	—	
イソブタン	1969	イソブタン	2.1	—	
石油系炭化水素 潤滑油添加剤				○	○

海上規則情報 : IMO (International Maritime Organization: 国際海事機関) の規定に従う。

航空規制情報 : ICAO (International Civil Aviation Organization: 国際民間航空機関) / IATA (International Air Transport Association: 国際航空運送協会) の規定に従う。

国内規則

陸上規制情報 : 高圧ガス保安法、道路法の規定に従う。

海上規制情報 : 船舶安全法、港則法の規定に従う。

航空規制情報 : 航空法の規定に従う。

輸送の特定の安全対策及び条件 : 容器は転倒・転落・衝撃を避ける。

: 容器は40℃以上にならないように温度上昇防止を図る。

1.5 適用法例

法律	主な項目	プロパン	ブタン	石油系炭化水素 潤滑油添加剤
労働安全衛生法	名称等を通知すべき有害物		○	
	危険物・可燃性のガス	○	○	
高圧ガス保安法	液化ガス・可燃性ガス	○	○	
化審法				○
船舶安全法	高圧ガス	○	○	
航空法	高圧ガス			
消防法	危険物第4類第3石油類 非水溶性液体			○
水質汚濁防止法				○
海洋汚染防止法				○
下水道法				○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律				○
化学物質管理促進法	大1種指定化学物質 政令番号392号			

1.6 その他情報

<引用文献>

化学物質総合情報提供システム 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

GHS対応による混合物(化学物質)のMSDS作成手法の研修テキスト(改訂版) 中央労働災害防止協会

<記載内容について>

記載内容については現時点で入手した資料に基づいて作成しておりますが、記載のデータ及び評価については必ずしも十分ではありませんので、取扱いには注意して下さい。なお、注意事項等については通常の取り扱いを対象にしたものですので、特別な取り扱いをする場合には、さらに用途・用法に適した安全対策を実施の上、取扱いをお願いします。